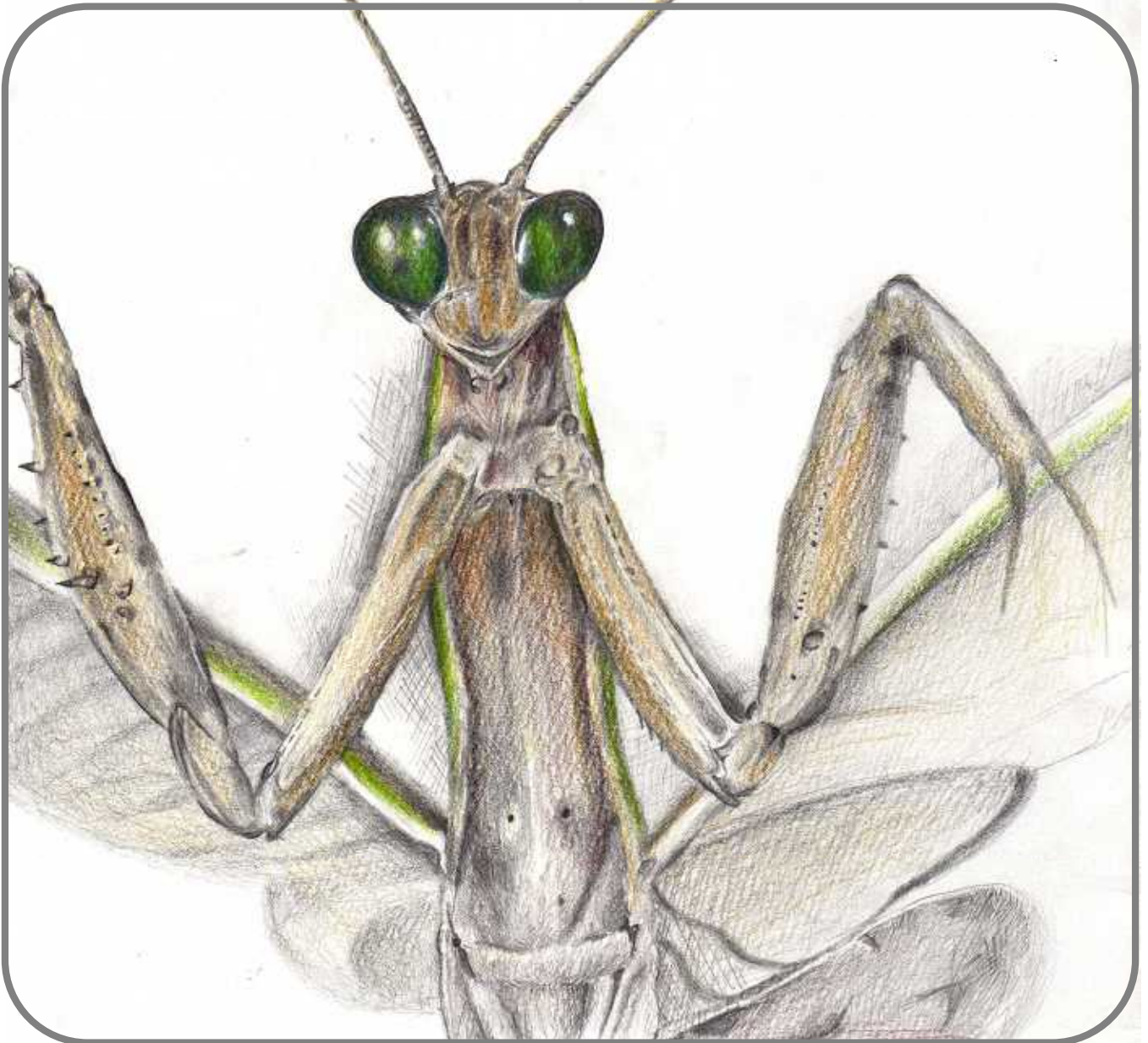


季刊 **青葉の森から** 夏 第17号
2010年7月10日発行



「オオカマキリ」 中野 希さん

南アフリカで開催されたサッカーワールドカップが、夏よりも一足早く熱を運んでくれました。日本中を明るくしてくれた選手たちに本当に感謝です。

さて、まもなく本当の夏がきます。セミの鳴き声や伸びる草の勢いに負けぬよう元気に乗り越えましょう。といいながら、夏になるといろんなものに圧倒される弱気な自分があります。強い日差しにクラクラ、そうめん以外のどを通らない、すぐ蚊に刺される。想像しただけで夏バテしてきました。みなさんはくれぐれもお元気にお過ごしください(立花)

青葉の森瓦版

かわらばん



しつこいカワラヒワ

カモシカがイベントに参加

4月11日の「カタクリを見においでよ」のイベントに2頭のカモシカが姿をみせてくれました。双眼鏡で見ると、どうも我々と同じくカタクリが目的のようで、カタクリをもぐもぐと食べているように見えました。みんな大喜びで盛り上がるほどに、カモシカは遠くへ消えてしまったのです。



5月下旬からマンサク枯れ始める

若葉が広がったと思ったら、マンサクの葉が枯れはじめました。「マンサク枯れ」です。全国的に発生していますが、未だ原因が分からない病気です。早く解明されてほしいです。

コゲラ（キツツキ）の巣穴を展示

散策路に落ちていたコゲラの巣穴を管理センターのホールに展示しています。枝がキレイにくりぬかれています。



驚きます。管理センターにお越しの際には、ぜひご覧ください。

今年も夏鳥がやってきました

夏鳥とは、夏に東南アジアやインドなどあたたかい国から、繁殖のために日本に渡って来る鳥です。

今年、管理センターでは以下の日付で夏鳥を確認しました。みんなが青葉の森で繁殖しているわけではないでしょうか、どこの森へ行っても元気な子どもたちが育つといいですね。

- 4/15 ヤブサメ
- 4/21 オオルリ
- 4/27 センダイムシクイ
- 4/28 サンショウクイ
- 4/29 クロツグミ
- 5/03 キビタキ
- 5/14 サンコウチョウ
- 5/19 ホトトギス

また、去年声が聞こえたアカショウビン、今年は聞いた人はいなかったようです。管理センターでも確認していません。

インターネットの壁紙追加

(財)仙台市公園緑地協会のHPにパソコン用の壁紙を追加しました。
<http://sendai-green-association.jp/>

ブログ始めました

ブログ「杜のひろばへようこそ」に青葉の森管理センターも参加することになりました。詳しくは7ページ。

わんぱく広場の遊具撤去予定です

老朽化によりクローズしているわんぱく広場の遊具が撤去される予定となりました。つきましては、撤去後の広場利用についてなど、みなさまのご意見をいただければと思います。お気軽に職員にお話してください。

団体利用のご案内 お友達同士や地域のイベント等で青葉の森を散策しませんか。青葉の森のレンジャーが森をご案内いたします。管理センターまでお気軽にお申し込みください。

小さなナチュラリストがガイドする



青葉の森ってどんなところ！？



毎月第2土曜日定例のイベント「親子でワクワク」の卒業生たちが、Jr.レンジャーとして市民のみなさんに青葉の森をガイドしてくれました。

ガイドは家族や姉妹、友だち同士といった複数のメンバーからなる5つのグループが交替で行いました。昨年も同様のイベントを行っており、ほとんどの子が2回目のガイドとなった今年は、みんな自信

を持って、堂々とやり遂げてくれました。

また、当日はテレビの取材が来て、夕方の情報番組で放送されました。テレビに映ったことも子どもたちにとってうれしい体験となりました。みんなの素敵な笑顔にあふれたイベントでした。

ここのアリさんは、レモンのようないいにおいがするんだよ。



松ぼっくりをエピフライのようにしたのはあれ？



カタバミの葉っぱで10円玉をみがくと…



ウグイスがホーホケキョ！と鳴くとき、どこで息を吸ってどこで吐いているのかな？



どうすれば、うまくアリジゴクが釣れるの？



森でクラフト



かんたんにできちゃう「絵！てがみ？」

2010/5/16 イベント

森を歩いて発見したものをそのままの温度で伝えよう。絵手紙にのせて。齋藤 正敏氏を講師に迎えて絵手紙のイベントを開催しました。

今年は季節の推移が遅く、ヒメシャガなど鮮やかな初夏の花が少なかったのは残念でしたが、参加者はヤマツツジ、チゴユリなど各々気に入った植物を見つけ、講師のアドバイスと我流とを織り交ぜて素敵な絵手紙を描きました。

最後に先生が用意してくれた竹のスタンプを押すと作品ができあり。テーブルの上には、充実した力作が並びました。



とれとれ？

描き方を丁寧に教えてくれた齋藤先生



これいいね

できあがった絵手紙 どれもみんなステキだね！

vs オオハンゴンソウ



オオハンゴンソウ（キク科）
花期 7～8月

管理センター周辺の湿地には、オオハンゴンソウがたくさん生えています。どうも、青葉の森だけではなく、青葉山全体的に生えているようです。

このオオハンゴンソウは、北アメリカの植物で、明治時代に観賞用として日本に持ち込まれたものです。それが野生化し、現在各地で日本の生態系をおびやかす存在となっています。環境省の外来生物法で、特定外来生物(下記参照)に指定されているほどです。

青葉の森でもあまり増えてもらっては困ります。そこで、山菜として食べることができたら、みんなが食べることで減るんじゃないかと考えてインターネットで調べてみると、食べたというテキストがいくつか見つかりました。どうやら食べられそうです。今回は「vs オオハンゴンソウ」と題して、オオハンゴンソウが本当に食べられるのか試す(生死をかけたバトル)ことにしました。

バトル 1 おひたし



刈り取った若芽をおひたしにしてみました。不安な気持ちがあるため、2～3分と通常のおひたしよりも長めに茹でました。3cm くらいにカットしたら、おしょう油をかけて、いざ、試してみます。



刈り取ったオオハンゴンソウ

バトルを終えての感想：

- ・春菊とセリの混ざったような味
- ・やや刺激がある感じだけど食べられる

特定外来生物とは

日本の自然の生態系や農林水産業に被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがあるとされる外来生物(海外起源の外来種)です。飼育・栽培・保管・移動・輸入が原則禁止されています。オオハンゴンソウのほかには、例えば、オオクチバス(ブラックバス)・ガビチョウ・カミツキガメ・セイヨウオオマルハナバチ・アレチウリなどが指定されています。

参考文献 環境省ホームページ「外来生物法」

バトル2

天ぷら



またもや若芽を刈り取って、次は天ぷらにしてみました。株もとを残すと葉がバラバラにならずに作れます。ただし、揚げても硬い場合があるので、口に入れるときは最後に入れたほうがよいようです。おひたし同様にやや不安な気持ちがあるため、しっかりと揚げました。

バトルを終えての感想：

- ・軸に食べごたえがあっておいしいかも
- ・なかなかいけるぞ

バトル3

胡麻和え



またまた刈り取った若芽を、今度は胡麻和えにしてみました。おひたしの時に舌触りが良くないように感じたので、なめらかになるようにと思いました。3度目でも未だ若干の不安な気持ちがあるため、しっかりとゆでました。

バトルを終えての感想：

- ・春菊やほうれんそうの胡麻和えよりおいしいかも

まだまだつづく

7月になるとオオハンゴンソウの花が咲き始めます。少しでもその数が減っていれば良いのですが、なかなか手が届かないところも多いです。オオハンゴンソウは、周りに他の植物が生えるのを抑える物質(アレロパシー)を出し、このためにあたり一面を占領してしまうのだそうです。今後も刈り取りを続けます。来春、オオハンゴンソウの駆除作業をお手伝いして下さる方は、管理センター(担当 立花)まで声をかけてください。

イベントのお知らせ



毎月第2土曜日 親子でワクワク「森とあそぼう！」

親子で自然に親しみます。対象/小学生以下の子供と保護者




8/22(日) 夏休み「自由研究かけこみ寺」

困っている小学生、レンジャーと一緒に自由研究を仕上げちゃお

詳しくは市政だよりをご覧ください。お問い合わせ：青葉の森管理センター(022-263-2101)



キノコって♡ ワンダフル！！

キノコは食べる以外にも面白いところがたくさんあります。いつもキノコに驚かされて、私の頭の中はキノコでいっぱい。森を歩いていてもキノコばかりが目につきます。今回はそのたくさんのお話の中のひとつをご紹介します。
藪 雨紀子 

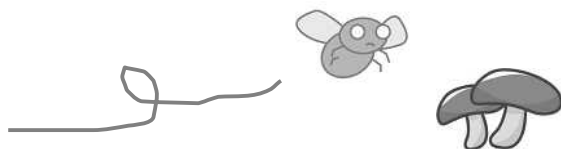
ハエがコロン！ キンチョールキノコ！！の巻き



今回ご紹介するキノコはテングタケ（毒）です。かさの部分についた白い模様（いぼ）が特徴的なキノコです。「不思議の国のアリス」にも出てきそうなカッコイイきのこでしょう。別名ハエトリキノコとも呼ばれ、昔はハエ取りに利用したのだそうです。私はこれを実験してみることにしました。

ハエをおびき寄せるために、テングタケを焼いてしょう油を塗ります。いいにおいがしてきます。テングタケは毒キノコですが、うま味成分も含んでいて、実は食べると美味しいのだそうです。もちろん、毒なので食べないでくださいね。

焼きあがったテングタケをお皿にならべます。さて、実験はうまくいくのでしょうか。実験の様子が右の写真（～）です。



倒れたハエは、翌日にはいなくなっていました。ハエは死んだのではなく毒で意識を失っただけなのでした（なるほどテングタケは神経系の毒をもっています）。そのため、ハエ取りに使うときには、お皿に水を張っておくといいのだそうです。

これからの季節、森にたくさんのキノコが顔を出します。ぜひみなさんもキノコとの出会いを楽しんでくださいo(^ ^)o

お皿に並べてハエを待ちます



さっそくハエが来ました。ペロペロ・・・（ピンボケでゴメンナサ



しばらくすると・・・倒れたー！！





ブログを始めました

今年度から始まった(財)仙台市公園緑地協会のブログに青葉の森緑地の情報も公開することになりました。「杜のひろばへようこそ」というタイトルです。

青葉の森管理センターでは、青葉の森へのアクセス方法・散策路の案内・季節の動植物の紹介といった情報を公開していきます。月に2～4回程度、情報を更新したいと思っていますので、ときどきのぞいてみてください。

ブログのアドレス (URL)

<http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/>



ケータイはこのQRコードから

杜のひろばへようこそ

検索



PCのブログの画面はこんな感じ



お便り紹介コーナー



富谷町の柴田 憲緒様からうれしいお便りをいただきました。

全項を楽しく見せていただきました

以前「青葉の森」で働いていた星さんから・・・色鮮やかな彼岸花が表紙の「春季第16号」をいただきました。その花が、森の催しに参加した皆さんの手作りとしてビックリしました。森ではこんな活動もしていたんですね。

木町通小学校3年生の出前授業の記事を見て、2年前の「秋号」を思い出しました。あの時「小さなキノコ博士」と紹介された彼女は、今どんな観察研究をしてるかな？ひより博士の=図解イラスト入り「冬虫夏草展」を管理センターの特設コーナーで見ましたが、とっても詳しく分かりやすい説明パネルの掲示だったので、驚いたり感心したりしたのを今でも覚えております。

他にもセリバオウレンや年輪とかもぐらなど、興味や肝心を深める記事が盛りだくさんだったので、全項を楽しく見せていただきました。

楽しく、また大変励みになるお便りをどうもありがとうございました。紙面の都合で全てを紹介できなくて申し訳ありません。ささやかなお礼としましてリスの食痕(森のエビフライ)のキーホルダーをお送りします。今度ぜひ青葉の森に散策にいらしてください。スタッフ一同お待ちしております。(編集部)

青葉の森を歩いたご感想や身近な自然についての情報、また今号へのご意見・ご感想など、編集部までどしどし送ってください!

お送りいただいた方にはプレゼントを差し上げます。

あて先

〒980 0845

仙台市青葉区荒巻字青葉 260

青葉の森管理センター「青葉の森から」編集部

E-mail: q4385w9k@utopia.ocn.ne.jp





森のひとこま

冬に見つけたタマゴ

出会いは1月のイベントの下見のときでした。いてつく寒さに凍えながら、どこかに虫がいないかなあとなめるように何本もの木の幹を眺めていると、コナラの樹皮の裂け目に、やや暗い緑色の柔らかさそうでさわるとプニプニとしそうな物体がくっついてあるのを見つけました。

タマゴがピッシリ!



事務所に戻った後で調べてみると、クヌギカメムシのタマゴだということが分かりました。春になったらタマゴがかえって赤ちゃんが生まれてくるのでしょうか。気になって、それからときどき見に行くことにしました。

3月になると春を彩る山野草の花が咲き始めました。陽射しも暖かくなってきてそろそろ生まれるかと思いましたが、なかなか動きがありません。そして、4月、カタクリが満開になるうとするころ、ついに生まれているのを見つけました。生まれた赤ちゃんが最初に食べるのは卵の殻だそうです。

木々が芽吹くまで他に食べ物はないため、生まれた場所を離れずじっとしています。見つけたのは4月10日でしたが、殻が無くなっているようなので、もう1~2日前に生まれていたのかもしれない。



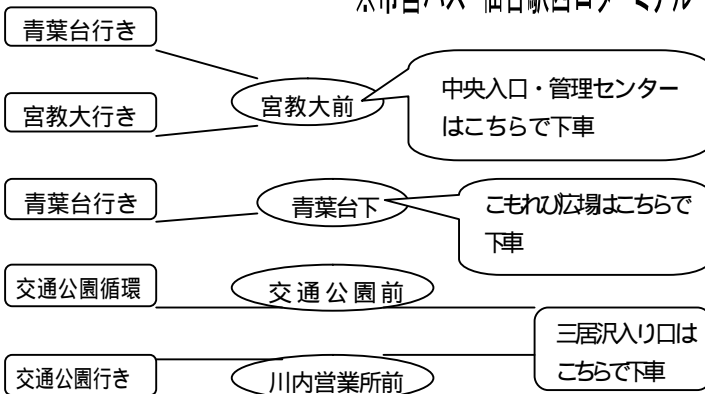
たぶん

上：脱皮後、下：脱皮前

その後も観察を続けると、5月のはじめに一度目の脱皮をすませ、GWが終わった5月10日になると、すっかり空っぽになっていました。4ヶ月も見続けたのにサヨナラも言わずにいなくなってしまった。淋しい(;_;)。。
きっと、どこかで美味しいゴハンを食べているかな。無事に大きくなるんだよ。

青葉の森緑地への交通の便

※市営バス 仙台駅西口ターミナル



休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）

開館時間：9：00～16：30

発行：（財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター

〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022 263 2101 Fax:022 263 2102

http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_aoba.html（お知らせをクリックするとイベント情報がご覧になれます）